

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 9 月 18 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部地域行政学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 8 月 23 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) university of california,berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/
留学期間	2025 年 5 月～2025 年 8 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 1 月上旬～5 月 2 学期: 8 月中旬～12 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	45,000 人
創立年	1868 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 145 円)	B 日本円	備考
授業料	7058	円	
宿舍費	6734	円	
食費	100	円	寮で三食であるのでほとんど食べてないです。
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		14,500 円	Mint Mobile(3 ヶ月、データ無制限)
現地交通費		円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		300,000 円	ラスベガス、ロサンゼルスなど
被服費	100	円	
医療費		円	
保険費		円	形態: 明治大学指定の保険(3 ヶ月)
渡航旅費		円	
ビザ申請費	550	円	SEVIS 費用 \$350 ・ビザ料金 \$200
雑費		円	
その他		円	お土産
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	14542ドル (=2,108,590 円)	314,500 円	
総計(A+B) ※円	2,423,090 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：サンフランシスコ 経由地：バンクーバー

復路 出発地：ロサンゼルス 目的地：羽田 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：ジップエアー 料金：93,000

復路 航空会社：ハワイアン航空 料金：77,650 ∴合計：170,650

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：スカイキャナー)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：アイハウス) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数ルームメイト一人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

アイハウスは、サマー期間でもたくさんの留学生がいます。毎日ご飯と一緒に食べたり、メインホールがあったりゲームルームがあるなど友人を作りやすい環境です。バークレーで仲良くなり今も連絡を取り続けているのはほとんどがアイハウスの人です。施設も古いけれど、毎日掃除していて清潔で満足でした。食事もビュッフェスタイルで、日替わりのメニューなので飽きることはなかったです。アイハウスをぜひおすすめします！

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の人から聞いたり、領事館や大学からのメールをこまめに見るなど。

クレジットカードが一時期使えなくなりました。おそらく情報を盗まれたのだと思います。以後、個人の小さな店ではクレジットカードをつくことを控えて現金で払うようにしました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

大学の Wi-Fi で十分でした。接続に問題を感じたことは一度もありません。

5) 現地で資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

もともと両替したドル札を日本から持ってきた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特にないです。Amazon があるのでなんでも調達できます。ただ、外食費がとにかく高いので、非常食を持っておくことをおすすめします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に、自分で指定したクレジットカードで払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	☒ 10 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing マーケティング	
科目設置学部・研究科	HASS
履修期間	May 20-June 28
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brady
授業内容	マーケティング
試験・課題等	レポート課題 4 回、期末テスト、グループ課題
感想を自由記入	個人的に一番良い授業でした。クラス内の雰囲気ととにかく良かったです。グループで話す時間を多く設けられたり、グループプレゼンがあったので、クラスメイトと仲良くなれて遊びに行く機会が一番多くあったのがこのマーケティングの授業です。授業内容は基礎のマーケティングの知識からやってくれて、初学者の私でも単位を取ることができました。課題に関しても、少なくともは、多すぎず、勉強しながらも週末には遊びに行く時間を確保できてちょうど良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
leadingpeople		リーディングピープル
科目設置学部・研究科	HASS	
履修期間	May 20-June 28	
単位数	3	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回	
担当教授	Janet Brady	
授業内容	leadingpeople	
試験・課題等	レポート課題 3 回、中間テスト、期末テスト、グループプレゼン	
感想を自由記入	マーケティングと同様の先生だったため、同じくクラス全体の雰囲気良くてきた授業です。内容は、日本では珍しいリーダーシップ論というもので、初めは戸惑いましたが先生が丁寧に説明してくれたためよく理解ができました。ただ、ビデオを見る時間がかなり多く授業の半分以上を占めることもざらにありました。加えて午後の授業のため眠気には注意です。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
introduction to international business		インターナショナルビジネス
科目設置学部・研究科	HAAS	
履修期間	july5th~august14th	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回	
担当教授		
授業内容	Dan Himelstein I	
試験・課題等	中間レポート、期末レポート	
感想を自由記入	マーケティングの内容よりもさらに広義で、実際にビジネスをするときのコツや手法、懸念点などについて学びました。この授業は朝の 8 時からと 10 時半からの二種類あり、何度か 8 時からの授業へ参加しましたが、朝から元気な学生がおおく議論も活発で圧倒されました。また、先生が親日なこともあり、多く日本の例が出てきたので楽しんで授業を聞けました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
The Berkeley Experience		バークレー 経験	
科目設置学部・研究科			
履修期間	july20th~august14th		
単位数	1		
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回		
担当教授	Jeff Ellenbird		
授業内容	バークレーとサンフランシスコの歴史		
試験・課題等	プレゼンテーション 2 回		
感想を自由記入	この授業は短期集中で他の授業が 6 週間あるのに対し、三週間で終わるものです。その分一回一回の授業内容は濃かったです。また、教授が明るくととても生徒思いの方で、三回目の授業の時にはクラスメイト全員を覚えてくれているなどすごく良い雰囲気でした。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

ワンキャリア、マイナビ、外資就活ドットコム

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

明治大学からの参加者は3年生もかなりの人数がいました。サマーインターンに向けてESを提出している人もいましたし、留学に集中をしたいという人もいてバラバラでした。私は留学中は就職活動を考えずに今あることに集中しようと決めていました。しかし、留学先で友達からの情報などを耳にするとやはり焦ることもありましたが、就活は絶対にやらないと強く決め自分の中での優先順位を決めておいたので留学中もブレずに終えることができました。就活をやるにしろやらないにしろ、自分の中での留学前後の計画と、どこまでやるかのラインを決めておけば悔いなくブレずに留学に向かえると思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	TOEIC 受験
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	出願
留学開始年	1 月 ～ 3 月	手続き諸々 (VISA、授業申請、寮申請、旅券購入など)
	4 月 ～ 7 月	留学
	8 月 ～ 9 月	留学
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学先としてアメリカを選んだのは、学校外でも 24 時間英語に触れられる環境に身を置きたかったからです。その中でも、バークレー校を選んだのは、世界トップレベルの学習環境に惹かれたからです。特に、多くの実績を持つハースでの学習、寮アイハウスを通じた活発な国際交流、そして近隣のシリコンバレー企業と連携した実践的な学びはバークレーでしか得ることのできない学びだと考え、決めました。

実際に三か月過ごしてみてバークレーにしてよかったと心から満足しています。

国際交流という面では、これ以上ないほど満足した生活を送ることができました。海外の人々と一日中一緒に過ごす中で、国際情勢のような真面目な話から日常のたわいのない会話まで、本当に様々なトピックについて話しました。その中で、異文化を持つ人々と円滑に過ごす術が身につきました。1ヶ月ほど過ごすと、「この国の人はこういう傾向があるな」と、なんとなく理解できるようになります。

特にルームシェアは、一日中一緒にいることで思わぬところで異文化を感じられ、日々がとても楽しかったため、ぜひ他の人にもおすすめしたいです。ルームメイトとの衝突を乗り越えたことも大きな成長となりました。価値観が違う中で、意図せず相手を不快にさせてしまった時は驚きましたが、それでも相手の考えを尊重しながら自分の意見を英語で伝えるという困難な経験は、良い成長の機会となりました。

就職活動の点で、三年生で行くことの不安は大きかったです。しかし今、就職活動の前に行けてよかったなと感じています。なぜなら自分の価値観やモノサシが大きく変わったため、それが確立されてから就職活動に臨めるからです。三年生だからといってあきらめないでほしいと思います。なんかしら両立できる術はあるはずです。

また、一緒にいった明治の学生も意欲があり各々頑張っていたのでとても刺激を受けたり、挫折しそうなときは助け合ったりして、とても救われました。

アドバイスとして、行くと決めたからにはしっかりと準備をして留学を迎えてほしいという思いがあります。

どれだけ準備をしても「もっとこうしておけばよかった」といつか思うはずですが、実際に、私自身も留学確定後から英語学習をしていましたが、留学先で自分の英語力に何度も失望し、挫折しそうになりました。決意と覚悟を持って、万全の準備をしたほうが、振り返ったときに自分自身でも納得のいく、後悔のない留学生活を送ることができると思います。

みなさんの留学を応援しています！